

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 71 号 2017 年秋号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353

収穫祭



雨続きのため遅れに遅れていた脱穀も皆様の頑張りで 10 月 28 日に無事終了。予定通り 11 月 3 日に収穫祭ができました。早朝まで残っていた雨も上がり、準備が始まるころからはどんどんお天気は回復。穏やかな収穫祭日和になりました。

参加者は名戸ヶ谷小の校長先生はじめお客様、会員の皆さん合わせて 40 名。

ご家族で参加の方が数組。お孫さんを囲んだほほえましい光景も見られました。

はざがけパイプがまだ残っている田んぼを見ながら今年の稲作の労をねぎらい、飲んで食べて、語って、時間いっぱい楽しんでいた

できました。

家族会員の高橋弦己君、たくさんのお手伝いありがとう。
(山村 和子)



収穫の季節・稲刈りでーす

8月26日に、はざ掛け用のパイプ棚を組み立てて、今年の稲刈りが始まりました。9月9日、10日、16日と会員でもち田から始めました。名戸小の予定が20日になったのでうち7番田を残して刈りとりました。



はざがけにかけられた稲を案山子が見守っています



会員とゲスト参加者の稲刈りです

名戸小の5年生は 2回目の稲刈りです

5年生は昨年も稲刈りを体験しているので、鎌の使い方も上手で手順良く作業を行いました。刈るのが早く束ねる会員が大変でした。台風が来ましたが稲も倒れなかったのが幸いでした。足が抜けずドロンコになりながらも刈り上げました。お疲れ様でした。(小笠原智)



稲刈りの説明を真剣に聞いています



子供たちも束ね作業を頑張っています



作業開始で田んぼがにぎやかになりました

脱穀は天気が悪く延び延びになってしまいました

10月の週末は雨や台風で脱穀作業ができませんでした。はぎ掛けした稲には雀除け用のネットを掛けましたが、隙間から入って今年もいっぱい食べられたようです。

10月27日の名戸小の脱穀日は早くから脱穀機を使って作業を始め、子供達には足踏み脱穀機と唐箕と昔ながらの作業で行いました。稲刈りと同様に昨年も経験しているのでみんなで協力して作業が進みました。翌日の28日は昼前から雨の予想なので早くから作業を行い、降る前に無事脱穀作用を終了させました。危機一髪でした。

収穫祭に間に合うよう藤心ライスセンターに粳摺り、精米をお願いしました。粳に稲ごみが多く大変でしたとおしかりも受けましたがおいしい新米が出来ました。（小笠原 智）



先生も一緒に足踏み脱穀。頑張っています



唐箕での最終選別作業。手回しも難しいです



選別作業も慣れたものです



手前は脱穀機。奥で足踏み脱穀中です

**今年の田んぼ作業も無事終了です。
ご協力ありがとうございました。**



兄弟仲良よく
お散歩中です



藁の散布が今年
の最終作業です

ふれあいの集い

11月18日(土) 曇り後雨 気温 10度

ふれあいの集いが名戸ヶ谷小にて7年ぶりに開催されました。あいにく雨模様の為に体育館と各教室に変更です。事前の打ち合わせを2回実施して、臼、杵、かまど、釜、セイロの一式、正月飾りわら材料、そして収穫したもち米 30 kgを事前に名戸ヶ谷小へ運び入れました。

ビオトープを育てる会のイベント担当は餅つきと正月飾りです。ビオトープ会員 15 名が参加し連携良く動き回りました。餅つきは、4つの臼で各3回ずつ行い児童は第2回目から餅つき体験をして、全児童約 300 名は 14

時 15 分過ぎに終わりました。皆初めての体験のため笑顔一杯で、終えた児童は、父兄の方々が作ってくれたあんこときなこ餅をほおばりはしゃいでいました。

一方、2階の教室では影山さん講師のもと、正月飾りのわら細工を児童約 50 名に指導し、皆熱心にわらを編み完成させました。全てを終えて後片付けは 15 時前に終了。笹間校長、竹森教頭からの大変盛大に行われましたと、お礼の挨拶がありました。

会員皆様の協力で無事に終えて大変有難うございました。お疲れ様でした。(藤平 三郎)



もち米炊き上げ



雨が降り出しテント組立



餅つき 重い!



高く上げて!



しっかり持って!



臼の真ん中へ!



あんこと黄な粉もち作り



講師に手ほどき受けています



わら細工奮闘中

秋の生態調査

10月11日(水) 9:00～10:30 曇り 22℃

曇り空で日差しは全く出ず、無風。篠崎会長ほか5名の参加で、A、Bゾーンをくまなく回って観察しました。捕獲網で捕まえた生きものを容器に移して個々の名前を確認です。

ニホンアカガエルの成体と幼体を何匹も確認出来て、下田の杜里山協議会の代表でもある貝山さんは、びっくりでした。下田には一匹もないとの事です。ビオトープが多様な生態環境である事を再認識しました。

合計83種を確認出来て、前年同期よりは減ったものの大きな変動ではありませんでした。



イチモンジセセリ



チョウセンカマキリ



ハラナガツチバチ

秋の生きもの観察会

11月11日(土)9:30～10:40 曇り 17℃

当初10月21日(土)が雨天で延期となり月を超えての実施です。

名戸ヶ谷小、又は掲示板での案内もしてありましたが、参加者は1家族で父兄1名、児童3名とさみしい観察会でした。一方、会員は10名が集まり藁切りと田んぼへ撒く作業を行いました。

早速、児童たちは捕獲網とバケツを持ちBゾーンのザリガニ釣り場、三角池、木村家跡地の広場で昆虫を捕まえていました。曇り空

のせいかトンボ、蝶などはあまり飛んでいません。捕獲した生きものを容器に入れて篠崎会長の説明を聞き、又会長の整理された生きもの写真パネルを熱心に見入っていました。当日、観察できたものはアメリカザリガニ、スジエビ、カダヤシ、ウシガエルのおたまじゃくし、ドジョウ、モンシロチョウ、アキアカネ、コバネイナゴなどでした。

ビオトープで楽しく生きものに触ったりして更に知識の深まった事でしょう。

(藤平 三郎)



何がいるかな



捕まえたぞ



篠崎会長から詳しい説明

月例活動状況のお知らせ

9月10月、会員が実施した月例活動状況をお知らせします。

9月16日(土)

会員 13名参加し、雀除けネットの回収、続いて稲刈り、ハザ掛けを実施し、その他 B ゾーン
のつる豆の除去作業を実施しました。



ネット回収作業



稲刈りの風景



ハザ掛けの風景

10月8日(土)

通例では第3週土曜日ですが、雨の予報のため1週繰り上げて実施しました。

会員 11名が参加して、ザリガニ釣り場の整備、柳の枝が下まで垂れ下がり、邪魔になってきたので切り落としを実施しました。また、Bゾーンの中央木道脇の除草作業を実施しました。(園田 廣満)



ザリガニ釣り場の整備



木道脇の草の除去の後

冬の行事予定

冬(12、1、2月)は次の行事を予定しています

- 12月 ● 12月定例活動：16日(土) 大掃除他 ● 注連縄づくり：下旬
- 1月 ● 1月定例活動：20日(土) ● 第16回定期総会：27日(土)
- 2月 ● 2月定例活動：17日(土) ● ニホンアカガエル卵塊調査：下旬

(注) 詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか?

交通：柏駅東口より東武バス(5番乗り場)「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種(内、千葉県指定保護生物26種)

(2013年、年間を通じて観察した生きものの種類)